

# 鎌ヶ谷市地域公共交通会議

## 会議録

日 時 平成19年3月27日(火) 午後1時30分～午後2時10分  
場 所 鎌ヶ谷市役所6階第1～2委員会室  
出席委員 布施泰男、野村誠剛、勝又勝、豊田朋二、大蔵幸雄、土屋裕二、  
飯島茂雄、加藤廣、田村仁、大澤勉、久野義春、海老原正博  
(敬称略)  
欠席委員 岡秀明、渡邊幸一、小池満尚、野中芳勝(敬称略)  
事務局 木暮企画政策課主幹(コミュニティバス担当)、森谷企画政策課主査  
杉山企画政策課主事  
記 録 杉山

### ○ 委嘱状交付式

会議に先立ち委嘱状交付式が行われ、清水聖士市長から各委員に対して委嘱状が交付された。引き続いて市長のあいさつがあった。

## 1 会長の選出について

(事務局)

今回が「地域公共交通会議」設置後、初めての会議となることから、会長の選出をさせていただきたい。会長の選出は、「鎌ヶ谷市地域公共交通会議設置要綱」第4条に基づき、委員の互選となっているが、どなたか立候補または推薦をお願いしたい。

(C委員)

商工会代表の豊田委員を推薦する。

(事務局)

ただいま、豊田委員の推薦があったが、他に立候補または推薦はあるか。

(一同)

特に発声する者なし。

(事務局)

他になければ、豊田委員を会長とすることでいいか。

(一同)

異議なしと発声する者あり。

(結論)

会長には、豊田委員が選出された。

以下の進行は会長

ここで会長から、就任のあいさつあり。

## 2 内 容

(1) 会議の公開について

(事務局)

要綱に、原則公開がうたわれているが、いかがか。

(会長)

会議は公開する、ということについて皆さんのご意見はいかがか。

(一同)

異議なしと発声する者あり。

(会長)

では、鎌ヶ谷市地域公共交通会議は公開することとしたい。

(事務局)

議題に入ります前に、本日の会議の議事録署名人を選出願いたい。

(会長)

事務局で何か案はあるか。

(事務局)

野村委員、勝又委員を提案する。

(会長)

今、事務局から提案があったが、いかがか。

(一同)

異議なしと発声する者あり。

(会長)

では、今回の議事録署名人は、野村委員、勝又委員に願いたい。

ここで、傍聴者1名が入場。

(2) 議 題

①バス路線の延長について

(事務局)

資料1に基づき、説明。鎌ヶ谷市役所前道路の工事との関係で、市役所への進入路を変更することを提案したい。現在、市役所の東側から市役所に進入しているが、変更後は、南側から進入する形となる。工事は、平成19年度事業として予定されているが、時期は未定である。本日も承認いただければ、工事の進捗に合わせて、事務局で調整、国土交通省へ申請していきたい。

(会長)

路線の変更に伴う、停留所の変更はあるのか。

(事務局)

停留所の位置の変更は予定していない。ちばレインボーバスの民間バス路線についても同様の路線変更が行われる。

(会長)

この提案でいくと、国道にいったん出るということか。

(事務局)

今の入口は遮断されるので、バスは市役所構内で回る形となる。

(C 委員)

市役所の玄関前で乗り降りすることはできないのか。

(事務局)

これまで設置しているバス停があること、市役所玄関前は、乗用車の乗り降りがかなりあることから、見送ることとし、現在のバス停を活用することとしている。

(D 委員)

この変更はいつからか。

(事務局)

契約管財課と何度も協議しているが、時期については、現段階でははっきりしていない。平成19年度中できる限り早めに、ということしかわからない。本日も、ご承認いただければ、工事の進捗に合わせて事務局で調整し、時期確定後、委員の皆さまにはお知らせすることとしたい。

(D 委員)

予定も全然分からないということか。

(事務局)

はっきりした日程は分からない。工事の発注が4月になるということだけ分かっている。進捗を見ながら進めたい。

(会長)

他になれば、提案のとおり承認することとしたいがいかがか。

(一同)

特に異議なし。

(会長)

では、提案のとおり承認することとしたい。

(3) 報 告

①鎌ヶ谷観光バス有限会社への証明書の交付について

(事務局)

会議資料に基づき説明。昨年、検討委員会、専門委員会で議論したもの。その結果に基づいて、国との調整の結果、資料のとおり証明書を提出している。当時は、地域公共交通会議自体は設置されていなかったが、国との調整の結果、証明書の発行者名を記載している。鎌ヶ谷観光バスへの許可は4月になるだろうとの見込みがある。また、バス停設置1ヶ所及び時刻表変更について国に申請予定であるが、実施時期については、今後調整していきたい。

(H 委員)

鎌ヶ谷観光バス有限会社についてだが、社団法人千葉県バス協会の会員ではないため、会社概要がわからない。説明いただきたい。

(事務局)

観光バス事業の会社であり、大型バスを所有している。市内では観光バス事業者が2社おり、その中では長年の実績がある会社。今年の6月2日からコミュニティバスの西線を運行していただいている。手続上、6月2日から3月31日として申請していたため、今年のバス検討委員会及び専門委員会で議論いただき、今回の申請に至ったもの。

(H 委員)

また、今回の申請は道路運送法の第4条に基づくものか。

(事務局)

その通り。

②経過説明並びに資料説明について

(事務局)

会議資料に基づき、説明。平成18年度の利用状況は、資料2のとおりである。6月以降がルート再編後の数字。4月から2月までで42,095人。コミュニティバスは、従前の実績だと年平均で22,000人程度だった。ほぼ倍の利用をいただいている。次に資料3に年度ごとの利用状況をお示ししてあるので、後ほどご覧いただきたい。新たなルートになった後、全く利用されていないバス停はない。資料4は、今年の委員会で議論いただいたうえ実施したOD調査の結果速報である。3月14日に実施した。この日は、さわやかプラザ

が閉館だった。地域から乗っていただいて、駅で降りていただいている状況、帰りは逆のパターンが見えてくる。従前の認識では、乗り継ぎが多いのではないか、と認識していたが、調査の結果では、1名しかいなかった。今後、再度さわやかプラザが開館している日に実施して分析してみたい。

利用状況は、木曜、月曜が若干少ない。金曜が多い。あまり雨の影響はない。OD調査の結果は、今後の会議にお示ししたい。主に、利用者層の中心は、高齢者との報告を受けている。

(会長)

今の説明について質問等あるか。この調査は1便か。

(事務局)

3月14日の一日である。

(E委員)

利用者が2倍になったことの要因は。

(事務局)

バスの往復数の増と、毎日同じダイヤで運行していることが影響しているのではないかと考えている。

(E委員)

お年寄りが多い、ということだが、施設を利用することの要因か。

(事務局)

今後、年齢と乗降バス停の関係を調査する必要がある。高齢者が駅で降りているケースもあるようだ。施設については、それなりには利用があるようだ。市役所については、かなりの利用がある。確定申告時期には市役所への利用が増える状況があるなど、利用者の年齢層が広がっている状況がうかがわれる。

(4) その他

(会長)

その他で何かあるか。

(事務局)

今回、地域公共交通会議を開かせていただいたが、4月または5月頃にもう一度、開催させていただきたい。議題は、民間バスの新規路線についてである。OD調査についての分析については、委員の皆さまのご意見をいただきながら進めてまいりたい。

(E委員)

千葉県内の地域公共交通会議の状況をお知らせしたい。3自治体で地域公共交通会議が立ち上がっている。その他の自治体も設置に向けて検討中であり、平成19年度には、かなりの自治体で設置されるだろう。合併との絡みで検討

しているところもあるようだ。

(A 委員)

3自治体とは、どこか。

(E 委員)

鎌ヶ谷市、柏市、鴨川市である。

(会長)

他になければ、本日の会議はこれで終了したい。

以上で会議は終了した。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成19年5月11日

氏名

野村 誠剛

---

氏名

勝又 勝

---